

5 ダスタークロス

(1) 手順

- 手順①：資機材準備
- 手順②：ダスタークロスで除塵する
- 手順③：クロスを処理する
- 手順④：ゴミを自在ぼうきと文化ちりとりで取る
- 手順⑤：点検
- 手順⑥：報告



検定はPタイルやビニールシートの床におがくずをまいて行います。

(2) ダスタークロスの約束

約束①：除塵した後しか歩かない(ゴミの上を歩かない)。

約束②：持ち上げない、バックしない、同じ向きで進む。

(3) 用意するもの



ダスタークロスは、ホルダー（ヘッド※）とクロスとハンドルの三つを組み合わせたものですが、クロスの処理のあと、床に残ったゴミを取り除くには自在ぼうきと文化ちりとりが必要です。また、処理したクロスを捨てるためのゴミ箱も必要です。このように用意する資機材が多いので注意しましょう。※これまでヘッドと呼んでいましたが、清掃の現場ではホルダーと呼ばれることが多いため、本テキストでもホルダーと表記することにしました。

(4) 作業の流れ

手順①：資機材準備

右の写真の中にある物から、必要な資機材を選びます。クロスには何種類がありますので普段使用しているものを選びましょう。ダスターのセットを始める前に、必要な資機材は全て、コートの出入口にきれいに並べておきます。



ダスタークロスのセット



片膝を着いた姿勢でクロスを床に広げ、その真ん中にホルダーを置きます。ピンチを開きホルダーを上下から包むようにクロスを持ち上げて、しっかりとクロスを止めます。次にホルダーにハンドルをセットします。肩にハンドルをかつぎハンドルとホルダーのジョイント部分がしっかり噛み合うようにセットしましょう。次にハンドルの長さを調節します。真っすぐ立ってハンドルを伸ばし、目の高さに合わせましょう。

手順②：ダスタークロスで除塵する

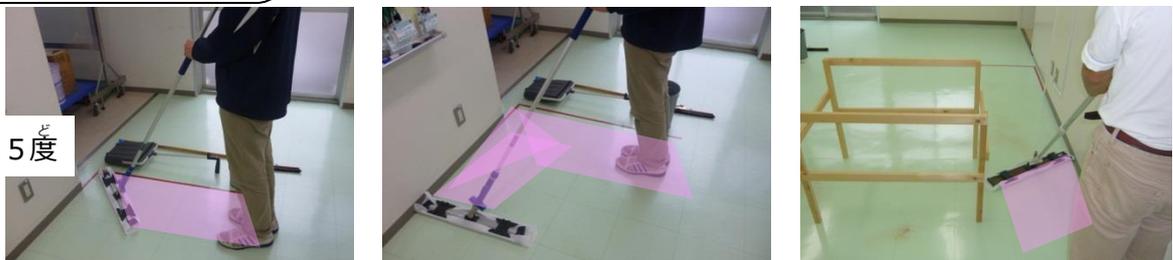
出入口



出入口の左端にダスタークロスに合わせて構えます。このとき、右手を上にして親指でハンドルの先端を押さえ、左手は順手で柄の上から約30cmのところを持ちます。出入口の左端から4分の1の弧を描くように拭き始めます。ダスタークロスでは除塵した後しか歩いてはいけませんので、写真のように自分が歩く場所を除塵してからコート内に入ります。ゴミを踏まないように注意しましょう。

壁際

45度



ホルダーの壁側を少し前に出して、真っすぐに押しつけて除塵していきます。このとき壁にホルダーはぶつからないように注意します。コートの隅はホルダーを45度にし、できるだけ隅までクロスを入れます。隅まで入ったらそのまま左へホルダーだけ動かし、自分が歩いていくスペースをつくってから自分も進んでいくようにしましょう。机の脇を通るときは机の脚にホルダーが当たらないように斜めにして進んでいきます。一周したら、ホルダーは持ち上げず、そのままの流れで今度はコートの内側の除塵をします。

部屋の真ん中

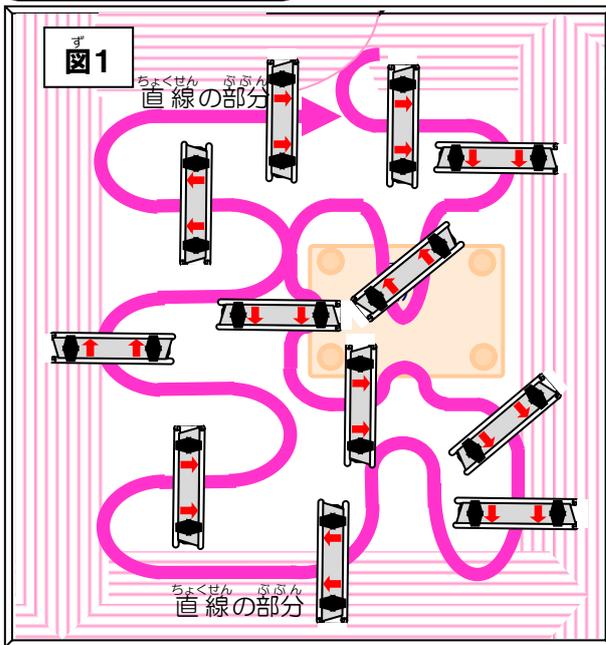
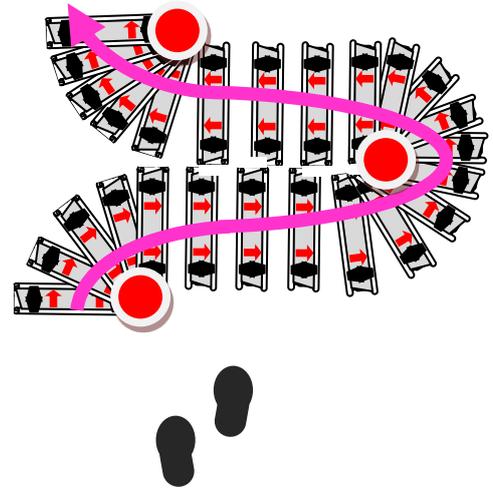


図2



壁際を一周したら、部屋の真ん中の除塵をします。部屋の真ん中の広い部分は、ホルダーを図2のように回転させながら進んでいきます。自分は真っすぐに歩いていき、ホルダーは自分の前を通過するときは縦の状態に、自分の左右にきたときには●の部分を中心とし、拭き跡が少し重なるようにして半回転させます。図1の直線の部分は、壁際と同じように、ハンドルを胸の前で構えて真っすぐ押して除塵していきます。

机の下



ホルダーやハンドルが机の脚などに当たらないように、机の下はあまり奥まで入れないようにします。机の脚元にゴミがある場合には無理して取ろうとはせず、手順④のところで、自在ぼうきと文化ちりとりで取り除きましょう。

手順③：クロスを処理する



出入口の前まで除塵したらクロスを処理します。まず、片膝を着いてハンドルを肩にかつぎ、ホルダーを外します。外したハンドルは自分の右側に静かに置きます。次にホルダーをクロスからはがします。クロスが持ち上がらないようにしっかり押さえながら静かにホルダーを持ち上げ、ハンドルと並べて置きます。クロスを図の向きに裏返し、ゴミで汚れた面が内側になるように折り込み、ゴミをまき散らさないようにします。



たまたま重ねたクロスとハンドル・ホルダーを持って、出入口から外に出て、まずクロスゴミ箱に入れ、ハンドルとホルダーは元の位置に置きましょう。

手順④：ゴミを自在ぼうきと文化ちりとりで取る



クロスを処理した場所には、たくさんのゴミが残っていますので、自在ぼうきと文化ちりとりを用意します。自在ぼうきの持ち方は、右手でハンドルの真ん中辺りを持ち、ハンドルの先端は脇に抱えます。文化ちりとりは左手に持ちましょう。ちりとりの後方に立ち、ほうきの毛先の前半分をちりとりの中に入れてるようにしてゴミを取ります。毛先全体をちりとりにぶつけるとゴミが両脇からこぼれてしまうので注意しましょう。

手順⑤：点検



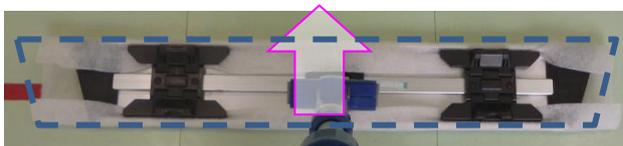
クロスを処理した場所のゴミを取り終えたら、クロスで取りにくい机の下やコートの隅などを注意深く点検し、残っているゴミを取り除きましょう。その際は、全てのゴミを1か所に集めるのではなく、場所ごとに集めて取り除きます。

手順⑥：報告



全ての工程が終了したら、資機材を元の場所に戻しましょう。出入口のところに立って姿勢を正し、はっきりした声で報告をしましょう。

参考：ホルダーの前後について



最近ではホルダーの形状が左のように台形になってきています。幅の広い方が前になるように作業しましょう。